

市長定例記者会見報告事項概要

令和6年2月20日(火) 午後2時00分～

1. 令和6年市議会第1回定例会の議案について

このたびの議案は、現年度の議案が19件、推薦が1件、選任が2件、報告が7件、新年度の議案が新年度予算を含む30件である。

(1) 現年度の議案のうち、議案第1号 一般会計補正予算について

- 国補正予算に対応した、小・中学校施設の長寿命化やトイレ洋式化、武道場の空調設備の整備、市道真尾線、新築地一号線の整備事業などに加え、こども家庭センター整備用地となる旧JA華城支所の土地・建物の購入経費、合わせて、28億3,300万円を当初予算から前倒して実施することとしている。
- また、「こども未来基金」を新たに創設することとし、約1億円を積み立てることとしている。

(2) 新年度の組織の改編について

- 行政課題への対応強化や、より効果的で機能的な業務体制の確立を図ることに加え、来年1月に供用開始する新庁舎における行政サービスの提供を見据えた改編とした。
- まずは、「健康福祉部」の改編を行う。
- 国の異次元の少子化対策に対応していく中、多岐にわたる子ども・子育て諸施策に取り組む体制強化を図るため、子どもに関連する部門を独立させ、新たに『保健こども部』を設置する。
- 部内には、こどもまん中社会の実現に向けた司令塔として、新たに「子育て推進課」を設置するとともに、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ包括的に相談支援を行うため、「こども家庭センター」を新設すること

としている。

- また、「生活環境部」から「保険年金課」を移管し、がん検診を担当する「健康増進課」と、生活習慣病予防健診を担当する「保険年金課」の連携をさらに強化し、それぞれの受診率アップを図る等、取り組んでいく。
- 一方で、超高齢社会への対応など、きめ細やかな福祉サービスをこれまで以上に手厚く提供していく体制を強化していく必要があるため、新たに『福祉部』を設置する。
- 部内には、新しく「福祉総務課」を設置し、高齢者や障がい者など複数分野にわたる複合的な課題や制度の狭間にある課題を抱える方々へ、包括的な支援を実施するために、福祉総合相談窓口を新たに開設する。
- 次に、「文化スポーツ観光交流部」においては、この度の競輪場のリニューアルを契機に「産業振興部」から「競輪局」を移管することにより、「自転車のまち防府」を推進するとともに、子どもから大人まで、多くの市民に親しまれる施設になるように取り組んでいく。
- 次に、「産業振興部」においては、戦略的な産業政策を強化するため、「商工振興課」内にある「企業立地推進室」を課レベルに格上げ、新たに「企業応援課」を設置する。
- 国道拡幅の整備を見据え、新たな企業誘致やポートセールス活動を強化し、しっかり取り組んでいく。

(3) 新年度の議案のうち、議案第45号 上下水道料金等の改定について

- 下水道使用料等を、来年1月から改定しようとするものである。
- この改定により、一般家庭において標準的な1か月あたり、15立方メートルの使用水量で税込み、578円増の2,585円となる。
- なお、使用料の改定にあたっては、低所得者への配慮もしっかりと講じた内容となっている。